

2023年



11月

草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行 原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市中区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
Fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円

「あなたの声力が力になる」 日本も条約参加を 国連軍縮週間宣伝

10月24日から30日までの国連軍縮週間に合わせ、28日(土)に核兵器禁止条約への参加を求める愛知県民の会が、ハロウィンの影響でいつもより人通りが多い、栄・スカイビル前で署名・宣伝行動を行いました。行動にはコープあいち、反核医師の会、県平和委員会、愛知国公、愛知のうたごえ協議会、愛友会、県原水協などから21名が参加し、署名20筆が集まりました。



核兵器禁止条約は現在、93か国が署名、69か国が批准をしています。条約参加国が国連加盟国の半数に迫ろうとしているにもかかわらず、日本政府は条約への参加を否定し続けています。1日でも早く禁止条約に日本も参加するように、そのためにまずニューヨークで開かれる第2回締約国会議にオブザーバーとして出席するべきだと訴えました。

県内103,084筆

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

2023年10月31日 現在

署名用紙(新装版)やリーフレットを活用し、戸別訪問やポストイン作戦など工夫しながら取り組みを進めていきたいと思います。

世論調査で7割の国民が禁止条約に賛成しています。多くの国民が禁止条約への日本の参加を求めていることを力に、思想・信条・党派を超えて幅広い団体・個人に訴え、草の根から核兵器禁止条約に参加の世論を広げていきたいと思います。

また、軍縮週間宣伝の終了後、緊急で県平和委員会と共同でガザへの攻撃STOP行動を行いました。15人で取り組み、「ハマスはただちに人質を釈放し、挑発行動をやめるべき。イスラエルもガザ地区200万人の命を危うくする地上侵攻を止め、双方とも停戦に向けて同じテーブルに座るべきだ」と訴えました。

ガザへの緊急支援募金は4200円集まり、ユニセフに届ける手筈をとりました。



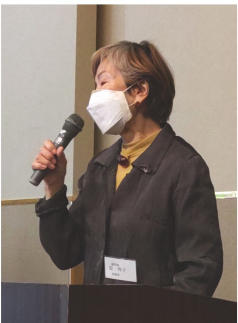
← 歌声で訴える佐藤さん

被爆者の思い、生き様を知り 運動をつないでいく 東海北陸ブロック被爆者健康相談会

10月22日、23日に岐阜県長良川温泉にて東海北陸ブロック被爆者健康相談会が開催され、愛知・岐阜・三重・静岡・石川・福井・富山から被爆者22名、2世・3世19名、支援者11名合わせて54名が集まりました。

世、支援者のみなさんと一緒に歩いていきたい」と語りました。次いで、日本被団協原爆被爆者中央相談所委員の原玲子さんを講師に「平均年齢85歳を越えた被爆者の援護・医療と介護問題について」と題し、講演が行われました。被爆者が高齢化する中で被爆の影響による病だけでなく、介護についても欠かせない問題となつている現状に「必要な介護保険サービスが受けられるように、被爆者に情報を届けることが必要」と語り、被爆者団体だけでなく、民医連や保険医協会などの医療に携わっている団体や、新婦人や支援ネットなど地域で活動している団体と協力して被爆者の生活支えていく事が必要になっていくと話しました。また、支援者として「介護」を通じて、被爆者の思い、生き様を知り、運動をつないでいくことも大切だと語りました。

→ 中央相談所委員の原玲子さん



その後、各県から活動報告が行われました。各県とも被爆者だけで活動することが困難になつていて、解散を決めたり、2世が中心となり運営しているなどの実情が報告

されました。岐阜県からは岐朋会の活動とともに、ヒバクシヤ国際署名を進める県民の会が署名終了後、岐朋会の活動を支援し、平和活動の受け皿となることを目指し結成した「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」の活動報告があり、岐朋会の加田会長、岐阜県生活協同組合連合会の大坪会長、元岐阜市教育委員長の安藤さん、元岐阜県美術館長の長谷川さんが代表世話人となり、3月には「国連原爆展 in Gifu」を開催するなど、市民運動として定着している事が報告されました。夕方には食事をしながら、交流を行いました。

また、2世・3世の交流会も行われ、各県の活動や状況、これから2世・3世の運動をどう取り組んでいくのかなどが話し合い、交流しました。



高校生が平和について学ぶことが大切 2023ナガサキツアー報告会



10月15日、愛知県高校生の原水協ゼミナールが8月の原水協禁止世界大会、全国高校生平和集会に参加するために取り組んだ「2023ナガサキツアー」の報告会を民主会館で行いました。

はじめにツアーに参加した4名の高校生から報告があり、事前に作成した報告集を基に進められました。

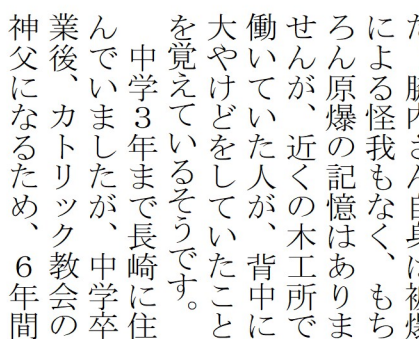
爆心地や平和公園では、大破した浦上天主堂の一部や慰霊碑、千羽鶴などを見て「より近くに原爆や戦争を感じ、自分には何が出来るだろうと考えた」、原爆資料館では被爆直後の写真を見て「黒焦げになり写っているのが『人』だと分かる」と、とてもつらくて見ていられなかった」などの感想がありました。



世界大会に参加して「これだけたくさんの方が平和について考えていることに驚いた」「色々な国の状況や活動が聞けてよかった」、全高集では被爆者の体験を聞き「戦争は絶対にさせてはいけぬ、核兵器は必ず無くさないといけない」と思った」と報告がありました。

全体を通して「高校生が平和について学ぶことはとても大切なこと」「署名などは地道な活動だが必要なことだと感じた」と話しました。

ツアー報告の後には、愛友会の水野秋恵さんから被爆体験を聞きました。その後、これから平ゼミがどんな活動をしていくのか話し合い、勤労動員など戦時中と同じ年代の人がどう暮らしていたのか、「ぞうれっしや」について学んでみたいなど、愛知県ならではの企画が盛り込まれました。



10月14日、アイプラザ豊橋にて、聞き撮りプロジェクトを行ない、豊睦会会長の脇内さんと宮崎さんに体験を聞きました。脇内さんは1945年6月3日に長崎で生まれ、生後2か月で爆心地から1・8kmの場所で母と2人の姉と共に被爆しました。脇内さん自身は被爆による怪我もなく、もちろん原爆の記憶はありませんが、近くの木工所で働いていた人が、背中に大やけどをしていたことを覚えていてそうです。

中学3年まで長崎に住んでいましたが、中学卒業後、カトリック教会の神父になるため、6年間

している11月3日「県民のつどい」での発言など、積極的に参加する高校生が増えてきています。高校生たちの平和への思いを広げるために、今後支援をお願いいたします。

宮崎さんも長崎で3歳半の時に母と妹と共に約2kmの地点で被爆しました。原爆が爆発した瞬間は押し入れに押し込まれたと記憶していると話してくれました。

19歳で愛知県に生まれましたが、長崎でも愛知でも被爆のことを話すことはなかったと語られました。被爆の影響が分からず「病気がうつるんじゃないか」と言われていたからです。しかし、第五福竜丸のことや1961年に被爆者手帳が届いてから、被爆のことを考えるようになり、母と妹が病気で亡くなったことも、被爆したことが影響していたのではという思いがよぎると話されました。

81歳になった今、「戦争はいかん。原爆が一番

豊橋で聞き撮りプロジェクト 『原爆は一番いかん』



小牧市之久田中央公園にて小牧平和市民集会所が行われ、県内各地から280名が集まりました。

オープニングアクトでは、和太鼓・踊(とう)による、岩手のさんさ踊りなどの演奏が披露され、笛の音と和太鼓の音が会場に響き渡りました。

また、愛知県平和委員会の矢野事務局長が「大軍拡を支える愛知」と題し、自公政権が進める防衛費2倍化や敵基地攻撃能力の保有に愛知県の軍需産業が大きく関わっていることを、パネルを使いながら分かりやすく解説してくれました。

軍事増税止めて、暮らしにまわせ! 小牧平和市民集会

10月29日(日)、小牧市之久田中央公園にて小牧平和市民集会所が行われ、県内各地から280名が集まりました。

オープニングアクトでは、和太鼓・踊(とう)による、岩手のさんさ踊りなどの演奏が披露され、笛の音と和太鼓の音が会場に響き渡りました。

また、愛知県平和委員会の矢野事務局長が「大軍拡を支える愛知」と題し、自公政権が進める防衛費2倍化や敵基地攻撃能力の保有に愛知県の軍需産業が大きく関わっていることを、パネルを使いながら分かりやすく解説してくれました。



2024年版 いわさきちひろカレンダー

《平和へのねがいをたくして》
すべての子どもたちの未来に戦争も核兵器もない平和で公正な世界をの願いを広げるために運動を支え広げようご協力ください。
●環境にやさしい紙で綴じるホットメルトを採用

- 大豆を原料とした植物性インクを使用
- A2判・絵7枚 ●頒価1,540円(税込)

※25本以上送料無料
※注文は県原水協事務局まで

被爆者をはげます集い

日時:12月23日(土) 11:00~
場所:保険医協会・伏見会議室 (名古屋伏見スクエアビル内)
参加費:500円(お弁当代)
被爆者・大学生以下は無料

- ◆被爆者を囲んで懇談を行います。
- ◆参加される方は連絡をお願いします。

『NY代表派遣募金』にご協力ください

核兵器禁止条約の第2回締約国会議がニューヨークで開かれます。愛友会の金本弘理事長、大村義則代表理事、佐竹康行事務局長の3人の派遣を準備しています。代表派遣のための募金にご協力をよろしくお願い致します。

振込先 郵便振替 口座番号 00850-8-49385
口座名 原水協禁止愛知県協議会

「アウトだ」と力を込めて話してくれました。(武藤昌代)

集会では望月尾中労連議長から、「このままでは小牧が、愛知がいきなり戦場になってしまいう可能性がある」とあいさつがあり、共産党の本村衆議院議員から、小牧基地が生物、化学、核兵器に對して強化を進めることに「基地は守れても、住民は守れない。愛知を軍事拠点にしないよう一緒に声を上げていきましょう」と連帯のあいさつがありました。

集会の後には、小牧駅まで平和パレードが行われ「軍事増税反対! F35もミサイルもいらぬ!」とコールしながら行進しました。

県原水協は会場で、「原爆と人間」パネルと高校生が描いたヒロシマの絵画を展示しながら署名を訴えました。